

IPM関連剤

カメノコス®

ヒメカメノコテントウ成虫…………… 100頭/300ml

種類名/ヒメカメノコテントウ剤
農林水産省登録/第23413号
(住化テクノサービス登録)
毒性/—
有効年限/—
包装/100頭/300ml

特 長

- 寄生蜂を有効成分とした天敵製剤と異なり、モモアカアブラムシ・ワタアブラムシ・ヒゲナガアブラムシ類など多種アブラムシに対して高い捕食能力を発揮します。
- 日本在来のテントウムシを有効成分としており、作物に定着しやすい天敵です。
- 暑さに強く、夏季のハウスでも定着します。

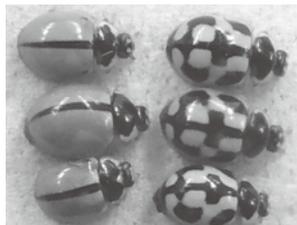
適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
野菜類 (施設栽培)	アブラムシ類	0.5～2頭/株	発生初期	—	放飼

生態的特徴

- 成虫体長：約4mm
- 活動温度：15～35℃ (増殖適温：20～30℃)
- 成虫寿命 (25℃)：約90日 ※羽化～産卵開始まで3～5日
- 捕食量(アブラムシ2齢幼虫)：
幼虫期…………… 最大約70頭/日(合計約200頭)
成虫期(雌)………… 約50頭/日(合計約4200頭)



ヒメカメノコテントウの模様は2種類あります。(捕食能力は同じです)

上手な使い方

- アブラムシ類は増殖が速いため、アブラムシ類の発生初期に、発生箇所を中心にカメノコスを放飼してください。
- 放飼は10アール当たり200～400頭を目安に放飼してください。
- ヒメカメノコテントウに影響のある薬剤の散布はさけてください。
- 既にアブラムシ類が多発している場合は、エコピタ液剤等ヒメカメノコテントウに影響の少ない薬剤を散布し、密度を減らしてから放飼してください。
- 定着性の高い天敵ですが、防虫ネットを併用し、ヒメカメノコテントウがハウス外に逃亡しにくい環境を整えることもお勧めします。

放飼のしかた



内蓋(フィルム)をめくる



株上に放飼



株元に放飼

- 低温条件下で放飼すると活動が鈍くなるため、管理温度の低いハウスでは冬場の放飼はさけ、秋口や春先に放飼してください。

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ヒメカメノコテントウ成虫を含有する製剤です。
- 本剤は入手後速やかに使用し、使いきってください。
- ヒメカメノコテントウ成虫がボトルの上部にいるため、容器を軽く叩いてふた裏の成虫を落としてください。
- 容器中でヒメカメノコテントウが偏在していることがありますので、使用の際は容器をゆっくり回転させて均一に混在させたのち、所定量を放飼してください。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがありますので、アブラムシ類のごく発生初期に放飼してください。なお、アブラムシ類の発生は均一ではありませんので、アブラムシ類密度の高い場所へ重点的に放飼することが望ましいです。
- ヒメカメノコテントウが天敵として有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より5～7日間隔で連続放飼することが望ましいです。
- ヒメカメノコテントウの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布はさけてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であるので、入手後速やかに使用し、保存しないでください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。